

2010/07/03

B-601 柴田真弓

D-503 山本洋子

港北ガーデンヒルズ キッズ&ジュニアクラブ のご説明

- I. キッズ&ジュニアクラブの目的
- II. 今までの活動
- III. キッズ&ジュニアクラブの今後の運営体制
- III. 自治会について考えたこと

1. キッズ&ジュニアクラブ の目的

キッズ&ジュニアクラブは、

みんながいっしょに遊び、たすけあい、なかよくなること

を目的とする 港北ガーデンヒルズのこども会です。

「キッズ&ジュニアクラブ(ガーデンヒルズ子ども会)」では、大きい子も小さい子も、知っている子も今まで知らなかった子も一緒に遊び、親も子もそして地域の方々とも親睦を深めていきたいと思えます。「キッズ&ジュニアクラブ」を通して、子供時代の暖かい思い出として心に残るような楽しい幸せな時を 皆で分かち合うことができると考えています。

港北ガーデンヒルズ キッズ&ジュニアクラブは 次の3つのことを目指しています

子ども達の すこやかな 成長

地域の子も達と 遊びや交流を通して成長し合い、そして子ども時代にしか味わえない楽しい時を分かち合うことができると考えています、

異年齢のたてわり集団 中でのふれあい

同学年だけでなく、異年齢間でも一緒に遊び、仲良くなればいいですね。その中で、年長の子供は、年下の子供の面倒を見たり、また、年下の子供は、お兄さんやお姉さんへのあこがれをもつことで、思いやりや優しさが自然と生まれてくるように願っています。

地域社会との交流 そして 地域への貢献

子供会の活動を通して、様々な世代との交流を生み、その輪が広がってガーデンヒルズという地域社会全体の活性化につなげていきたいと考えています。

- ・ 住民の方々と子供たちの交わる機会を増やしていくような行事を行っていきます。
((例)ハロウィン・・・地域の方や お父さん達も参加してもらってあげてくれます！)
- ・ 敬老の日の集いには子ども達から敬老のお手紙を書いて、暖かい交流を育んでいます。
- ・ 礼儀・マナーなど 人との信頼関係を築くための土台を育んでいきます
- ・ 子供会の活動を支える 自分の親や地域の方々の姿を見ることによって、その喜びや尊さを学び、将来地域に貢献できる若者となれる素養を高めていきます
- ・ 親同士の交流と協力を通して、交わりを深めていきます
- ・ 子供は地域の中で育つ、地域の皆で育てていくという意識を 住民の方々に理解を得ていきます

その先に 目指しているもの

ガーデンヒルズがさらに 笑顔と挨拶にあふれ、美しく安全で安心して暮らせ 心豊かな交流のある暖かい雰囲気のマニオン(コミュニティ)として 発展していけるように、キッズ&ジュニアクラブも一役を担える活動をしていきたいと思えます。

～代表者より～

子育てが一段落ついたり、定年を迎えられて お時間に少し余裕のある方などにも ぜひ交わりをお持ちくださるようお願いしたいです。アドバイスを頂いたり、子ども達に声をかけていただけたら大変うれしく思えます。

どんなクラブになるのか、私達もわくわくドキドキですが、お気づきの点などありましたら、いつでもお声かけください。どうぞよろしく願いいたします。

Ⅱ. 今までの活動

ハロウィン(10月)………仮装した子どもたちが4、5人ずつ年齢別の縦割りグループに分かれ、地図をもとにお菓子を配ってくれるお宅や仮装したボランティアさんを探しました。合言葉を言い、クイズに答えるとお菓子をもらえます(10箇所程度) マナーやルールを守り 異年齢の子ども同士で協力しながら楽しく参加し、様々な世代での交流が持てる機会となりました。お菓子をもらい終わったら、管理センターでお楽しみ会を行います。お菓子を食べながら、各グループごとに仮装の紹介、大人の仮装の紹介、ゲーム などを行いました。お菓子を配っていただいた方へのお礼の手紙も皆で書きました。最後に全員で集合写真を撮ります。キッズ&ジュニアクラブのメインイベントです。

お楽しみ会 (4月 進級お祝い) ……ハンカチおとし、チーム対抗ゲーム、わらべうた遊びを行い
(8月) おかしを食べました。ハンカチおとしはなぜか毎回大盛り上がり！
わらべ歌遊びは毎回同じものをやることで子ども達にも定着してきました。
毎年8月は、敬老の集いでお年寄りに渡すお手紙を書きました。
4月には、キッズ&ジュニアクラブの旗をつくりました。

子ども社会教室(累計5回開催) ……三菱グループOBで活動されている方を講師としてお招きしました。

- ① 世界のことを知ろうよ
～オリンピックのことやノーベル賞のことを楽しく学ぼう
- ② 年中行事の意味を知ろう
～七夕・お正月・盆踊り・ひな祭り どんな意味があるのかな～
- ③ 食べ物から世界を見れば
～世界の人は食べ物を平等に分け合っているのかな？～
- ④ お金のことを知っているかな
～今使われている「お金」昔のおもしろい「お金」を勉強しよう～

音楽会 ……地域で音楽活動をされている方を招待してコンサートを開催
(シンフォニエッタ・トゥッティ 弦楽合奏団をお呼びしました)

昔遊びの会 ……シルバークラブの方に来ていただいて、けんだま・お手玉・竹とんぼ・こままわしを一緒に遊びました

ラジオ体操最終日の外遊び ……ラジオ体操前後半のうち それぞれ一日、体操終了後 皆で外遊びをします
(おにごっこ、長縄、だるまさんがころんだ など)

クリスマス会 ……シルバークラブと合同開催です。前半はコンサートやアトラクション(バルーンアート等)
そして老若男女全員でゲームを楽しみました。子ども達から赤鼻のトナカイの合唱を行いました。最後は豪華商品の当たるビンゴ大会です

趣味の作品展への出展 ……習字・絵画・工作・自由研究 など 様々な作品がにぎやかに展示されました。

もちつき大会での昔遊びコーナー と 子ども餅まるめコーナー ……もちつき大会ではミニきねでもちつき体験。
また 自分でおもちをまるめて 黄な粉か醤油をつけて持って帰ってもらうコーナーを設けました。子ども達は悪戦苦闘しながらも 自分でおもちを作れて大満足の様子でした。けんだま・竹馬・風・こまを校庭で地域の方と楽しみました。

岸根公園ピクニック ……代休を利用して 親子連れで岸根公園へ出かけました。

Ⅲ. キッズ&ジュニアクラブ 今後の運営体制

	実績	今後の予定
会の名称	キッズ&ジュニアクラブ	
対象年齢	小・中学生 ただし保護者がついてくれ未就学児以下も可	
入会条件	イベント毎に参加者を募った住民であれば誰でも参加可	イベント毎に参加者を募る住民であれば誰でも参加可 ただし、自治会員と非会員で参加費に差額を設ける
組織の位置づけ	・自治会が公式に支援する団体(自治会細則第1条-2 参照) ・各行事の企画・運営はキッズ&ジュニアクラブで行い、自治会は必要に応じてサポート	
世話役(代表)	柴田・山本 ・イベントの企画・運営 ・毎月の自治会運営会議に出席	(目標)柴田・山本→会員の中から引継ぎ 2~3名程度/年 ・イベントの企画・運営 ・自治会運営会議に年に2~3回出席(活動報告等) ・自治会福利厚生部にキッズ&ジュニアクラブの連絡担当者を設置することになったので、毎月会議に出る必要はなくなりましたが、担当者への活動報告は随時行います。
企画・運営	柴田・山本 +数人のお母さんに準備や当日のお手伝いをお願いしていた	新たに「キッズ&ジュニアクラブ サポート隊」を発足し、イベントのお手伝いをしてくれるボランティアさんに登録していただく。(7月募集予定) お母さんはもちろん、お父さん、地域のみなさま、高校生や大学生の若い方々へ呼びかけます。 その中の人に呼びかけ、毎月イベント企画会議を開催し、今年度の企画を練っていきます
運営資金	・イベント毎に徴収する参加費(平均200円/人)で、保険・備品・お菓子代をまかなっていた。 ・部屋代・印刷代は自治会助成 ・謝礼代は気持ちばかり(平均500円程度)をお支払いしていた	・イベント毎に参加費を徴収 (自治会員 300円程度/年 (非自治会員 900円程度/年+保険代) ・地方自治体が募集する助成金制度に応募(来年4月) ・今年度より自治会からの助成金スタート ・部屋代・印刷代の助成は変わらず
保険	イベント毎に保険加入 保険料は参加費から支出	自治会員は自治会の保険でカバー 非自治会員は各自保険料を負担(イベントごとの保険料を参加者で割り勘(案))
参加人数	ハロウインは40~50人 その他は10人位	
活動内容	⑥お楽しみ会(進級祝い) ⑦ラジオ体操(外遊び) ⑧ラジオ体操(外遊び) ⑧お楽しみ会(敬老お手紙) ⑨敬老の集いでの手紙贈呈 ⑩ハロウイン ⑪趣味の作品展への出展 ⑫クリスマス会(シルバーと共催) ②音楽会 or 昔遊び会 子ども社会教室(のべ4回開催)	⑦ラジオ体操(外遊び) ⑦花火大会(敬老のお手紙書き) ⑧ラジオ体操(外遊び・敬老のお手紙書き) ⑨敬老の集いでの手紙贈呈(有志のみ) ⑩ハロウイン ⑫クリスマス会 ①お餅つきでの子どもコーナーと昔遊び ④or⑤進級お祝い会(又はそれに替わるイベント) (?)趣味の作品展への出展

こんなこともできるかも・・・？！

- ・夏の流しそうめん
- ・住民ボランティアによる子ども××教室
(囲碁・将棋・折り紙・俳句・お花・自然観察・お菓子・野球 など)
- ・他子供会とのスポーツ大会に参加

Ⅳ 自治会ってなんだろう ～ 子ども会 から出発して ～

キッズ&ジュニアクラブ(ガーデンヒルズ子ども会)を立ち上げ、数年間運営していく中で、「ガーデンヒルズでどんな地域社会・コミュニティを作っていきたいのか」を考えるようになりました。皆様にもぜひご参考にいただき、一緒に考えていただけたらと思います。

1. 自治会とは・・・

自治会町内会の機能

- (1) 支え合う……高齢者などへの支援／行事や子供会活動などへの援助
- (2) 伝える/つなぐ……各種広報の回覧やポスターの掲示／催し物案内
- (3) ふれあう……盆踊りや運動会の開催／子供たちと高齢者の交流
- (4) 助け合う……地域の清掃活動／防災や防犯への取り組み

(都筑区のホームページより抜粋)

つまり、自治会の趣旨は

住民たちが 助け合い、支え合っている よりよい地域社会を作っていくための活動を行う ことだと考えます。

子ども会(キッズ&ジュニアクラブ)も この点を目指して活動していきたいと思っています！！

2. ガーデンヒルズの地域社会のこれから

⇒こうなる？



住民どうしのつながりはあまりなく、まわりは知らない人だらけ

なんとなく冷たい雰囲気、あいさつもなし

子供たちに居場所がない……

困っていても助けてもらえない不安感

日々あふれる苦情は管理センター任せで お互いの顔は見えぬまま

⇒なにか(震災など)の時は、はたして協力しあえるのか??

⇒こうなる？



住民どうしの世代をこえた交流があり、まわりに知った顔が多い

わきあいあいとした暖かい雰囲気、あいさつにあふれている

子供会も老人会もあって仲良くやっている

みんなで 弱者(高齢者・子供)を助けていこうという基盤がある

⇒なにか(震災など)の時、誰一人取り残されずみんなで避難し、協力しあえる！！犯罪抑止効果も！

今後、建物はますます老朽化していき、有形の価値は減っていくかもしれませんが、地域社会・みんなのつながりという無形の価値は、私たち住民の意識次第で どんどん大きくすることができると思います。

私たちの想い

子ども達は、家庭で、学校で、そして地域で育っていきます。礼儀やマナーが悪いと叱ってくれる大人がいたり、親には言いづらいことを聞いてくれる大人がいたり、子ども達にも多様なつながりがあればそれだけ居場所ができます。子ども達が、子ども達同士で、異年齢間で、又ご近所の方達との信頼ある交流が持てたらどれ程心強い安心を親子とも得られるかと思えます。又与えて貰った子ども達が、ジュニアとして青年として後続く子ども達を支援したり、コミュニティーや環境に関心を持って関わってくれるように育ってくれたら地域の若い力という財産も得られます。子ども会がガーデンのコミュニティーの活性化を担える可能性はあるように思えます。

また、子ども会がきっかけに、様々な年代の方の交流や互助が広がっていけば、一番危惧があり、全ての住民のメリットになる防災の強化につながっていきます。住民の中には、お仕事や育児、介護でお忙しい方、子育てが一段落ついたり、定年を迎えられた方、社交的な方やそうでない方・・・多様にいらっしゃると思いますが、力や時間のある方がボランティアの精神でガーデンの活性化に参加してくだされば、助けられる方、喜んでくださる方が増えて 笑顔や挨拶のあふれるマンションにならないでしょうか？

美しく、安全、安心、心豊かな交流がある暖かい雰囲気のマニションは環境としての資産価値もアップすると思えます。

出来ることから、小さな事から 一つ一つ土を耕すようにもう一度土台作りから始めていったら、しっかりとした根がはり、幹としての自治会が太く高く育ち、シルバークラブ、シニアクラブ、青年会、ジュニア、子ども会、消防団、芸術・文化会 などなどの枝も伸びて、葉が生い茂り、やがて、味わったことのないような実を収穫できる日がやって来るのではないのでしょうか。

今、そんなイメージを抱きつつ、住民みんなで、知恵と力を出し合っていけるようになればと願っています。

